

IV（静脈注射）ナース指導者養成研修の開催に際して

IVナース指導者養成研修 総監修
ヴェクソンインターナショナル(株)看護企画部

道又 元裕



患者ファーストを支柱とした安全で質の高い医療の提供は、医療サービスのコア（核）であると考えます。看護職が行う静脈注射は、その中の重要な要素であり、安全、かつ質の高い看護技術が求められます。

臨床において、看護職一人ひとりが質の高い静脈注射を実施するためには、看護職個人の経験の積み重ねが重要ではありますが、その前提には静脈注射を安全に実施するうえで、基本となる知識と技術を習得している必要があります。その知識と技術を維持、向上させるために各医療機関が看護職の継続教育の一つとして定期的に「看護職が安全に静脈注射を実施するための研修」を行うことが望まれます。研修や臨床実践に際しては、そのための支援を行う「指導者」が不可欠であると考えます。

本研修（IVナース指導者養成研修）は、医療機関の機能や規模にかかわらず、看護職が静脈注射を安全に実施できるように支援する指導者を養成することが目的です。

本研修のプログラムは、静脈注射の技術だけではなく、その技術を支えている安全管理をはじめとした様々な知識と技術を学びます。指導者に必要な学習支援や円滑な対人関係に不可欠な要素、法的位置づけ、組織体制、研修計画のあり方などを個人、およびグループで主体的に学ぶ方法を組み入れた構成となっています。

本研修に参加いただく方においては、臨床実践の場で看護職が安全に静脈注射を実施するために支援をする指導者として、または静脈注射の研修計画・運営などを担う教育担当者としての役割を期待しており、主体的な参加と修学を望みます。